

かやばの丘

学校新聞第126号
令和4年12月23日発行

学校HPはこちらです。
<https://iwami-yogo.ed.jp/>
QRコードは
こちらです⇒



小学部自立活動作品
プレイルーム前に掲示中

「一人一人を大切に」

教頭 土田 美加

もしも、あなたが子どもから「なぜ、勉強をしないとイケないの?」と質問をされたら、あなたはへと答えますか?

「大きくなってから困らないためよ。」「あなたの幸せのためだよ。」等、百人に聞けば、百通りの答えが存在するのではないかと思います。実は、先般、本校で行った『人権教育』の職員研修において、講師の方からこの問いを受けました。そこで講師の方から伝えられた回答は、「どうして、そう思うの?あなたは、どう思う?」と、その言葉を発した子どもの想いや状況などの背景を考えること、本人の想いを確認してみることが必要なのではないかと、いうものでした。

子どもの発している言葉や行動は、表に現れているものとして見聞きできます。しかし、見聞きできない、その言動の裏にあるその子どもの本当の想いを想像したり、確認したりして子どもを理解しようとする、それが『人権教育』には必要であり、これは『特別支援教育』との共通性があると話されました。『人権教育』は、自分以外の人に対して関心をもち、その境遇をイメージし、どんな想いなのだろうと相手の気持ちを想像し、理解しようとする感覚を育てることが大切であるとお話を伺いました。まずは、子どもを取り巻く大人がこのような感覚を磨き合える状況下にて、一人一人を大切にみつめ支えられる環境を作りたいと感じました。

さて、感染症対策を行いながらですが、学びの発表の場である『石見もりもり祭』を、今年度もたくさんの保護者の方に来場していただき、開催できたことを嬉しく思います。「なぜ学ぶのか。」の答えの正解は見つかりにくいですが、子ども達にとって『学び』が喜びに感じられるのは、やはり、周囲の人に認めてもらえ達成感を感じられた時であること、何よりも身近な保護者の方の応援が、心強く力を発揮する原動力になるということ、子ども達の姿から実感できた一日になりました。

石見養護学校だからこそできる、一人一人を大切にみつめ、子ども達の笑顔があふれる学校となりますように、今後とも、ご理解ご協力をお願い致します。

「石見もりもり祭」

「正々堂々 輝け青春!!」

～「もりもり祭」を楽しんで最高の新時代を作ろう～

子ども支援部 執行部 (南口)



11月19日(土)晴天に恵まれ、石見もりもり祭が開催されました。今年は、学校運営協議会委員の方々や、ご家族を人数制限無しにお招きすることができ、児童生徒達もはりきって当日を迎えたことと思います。今年のスローガンである、「正々堂々 輝け青春!!」は全校児童生徒から意見を集約し執行部が決定したものです。みんなで一丸となって準備や発表、販売に取組み、みんなでもりもり祭を楽しもう!という思いが込められています。

ステージ発表では、はじめに高等部音楽グループが『和太鼓演奏「吹奏楽のための石見神楽」より「大蛇」』で、息の合った力強い演奏をし、会場を盛り上げました。高等部の「軌跡～自分のため・人のため・いっしょに～」では、高等部の生徒達が3つのグループに分かれて、高等部の学習の様子を動画でまとめ、発表しました。小中学部の『水戸黄門 EPISODE I～しまね修行の旅～』では黄門様の島根の旅になぞらえながら、修学旅行で学んだことやこれまで学習して身に付けたことを心温まる演技で発表しました。

販売活動では、中学部と高等部作業班(園芸班・製菓班・窯業班・木工班)が心を込めて作った製品を販売しました。天気も良く、もりもり広場で販売する作業班もあり、賑わいをみせました。たくさんの方に商品を手にしていただいたり声をかけていただいたりして、生徒達も最後までやりきった表情を見せていました。

今年度、本校では仲間の良かったところや頑張る姿などキラリと輝くところをメッセージカードに書き、掲示して伝え合う、「キラリいわみ」という取組を行っています。閉会セレモニーでは、執行部がもりもり祭の中の仲間や自分のキラリを伝えるメッセージ動画を流しました。執行部の生徒達がキラリカードを作成し、全学級に撮影依頼をして作りあげたものです。動画を通して、祭の看板作りや会場作り、発表準備にかけて学年学部を超えて児童生徒達が互いに助け合いながらもりもり祭に取り組んでいたことが伝わりました。そして、もりもり祭を通してそれぞれの成長も見ることができました。

今後の学習でも、様々な場面でキラリと輝く姿を見せてくれることを期待しています。



小・中学部『遠足～香木の森～』

小中学部（岸）

9月29日(木)に香木の森公園まで行きました。天気は快晴で、気持ちよく歩くことができました。2グループに分かれて、交通安全教室で習った歩き方をしっかりと守り学習の成果が出ていました。昨年度より距離を長くした児童も、疲れも見せず歩いていました。公園に着くと、レクリエーションをしたり、昼食後遊具で遊んだりして楽しみました。



高等部『プール学習』

高等部（藤井）

今年度は体育で「プール学習」を行いました。
1組男子、1組女子、2組と3つのグループに分かれて、美郷町にある「ゴールデンユートピアおおち」に出かけました。久しぶりの水泳でしたが、ビート板を使ってバタ足で泳いだり、潜って水中でジャンケンをしたりしました。最後はウオーターライダーをみんなで滑って楽しい時間を過ごしました。
「また、行きたい。」という声も聞こえていました。



寄宿舎『ハロウィン大会』

寄宿舎（神谷）

舎生の企画で、10月26日下校後、体育館にて「ハロウィン大会」を行いました。
☆仮装をする
☆カラオケをする（1人1曲）
☆ありがとうメッセージカードをみんなに渡す
どんな仮装にするのか、何を歌おうか、一人一人にどんなメッセージを伝えようか・・・とそれぞれが楽しみながら考えていました。
舎生のやりたいことを実現できるように一緒に考えて取り組んでいます。



ウッズスタート

邑南町の1才半検診時に、新デザインの積み木をお渡ししています。昨年度の木工班で考えたデザインです。この積み木に対してたくさんのお礼のハガキをいただいています。一部ですがここでご紹介します。
「かわいい作品をありがとうございました。とても丁寧に作られています。素敵なと思います。子供も気に入っています☆」
「みなさんがこの積み木を一生懸命作ってくださったと思うと長く大事に使わせてもらいたいです。ありがとうございました。」



人権教育関係

人権推進委員会（林）

今年度、四ツ葉の里合同研修の一つとして“アンコンシャスバイアス”を取り上げました。これは、「無意識の思い込みや偏見」と表現され、誰にでもあるものです。＜外国人は〇〇だ＞＜△さんは忙しいだろうから、今度の案件は私がします＞等々、自分が意識しなくても色々なことを決めつけて、それが言動に表れてしまうことは、日常的にあり、相手を気遣うことから生まれることもあります。研修会の中では、周りの人とワークをしながら、理解を深めていきました。自分と他人とでは、モノの見方が違うのは当たり前であり、相手を思いやり、対話できる関係を築けるよう心がけることが大切なんだと、改めて考えさせられました。研修の感想からも、多くの方が自分ごととして捉え、日頃の言動を見直すきっかけになった等の声が寄せられました。今回の研修で学んだ事を目の前の子供達や同僚に還元していけたらと思いました。

図書館情報

教務部（重利）

【読み聞かせ】

小中学部では、月に2回程度、ボランティアさんによる読み聞かせを行っています。子どもたちにとって、さまざまなジャンルのお話に触れることのできる貴重な時間となっています。子どもたちは、次の展開を楽しみにしながら、お話を聞いていました。



【ストーリーテリング】

昨年度に引き続き、今年度も「ちいさなろうそくの会」の皆さんにストーリーテリングをしていただいています。真っ暗の中、ろうそくの明かりを灯してお話を聞くことで、物語の世界を感じています。

3学期の主な行事

- 1月10日 始業式 13:15下校 給食あり
- 1月19日 IWAMIマルシェ（美郷）
- 1月20日 児童生徒総会
- 1月31日 児童生徒会選挙
- 2月1日 高等部入試（高等部特別休業日）
- 2月3日 高等部1・2年スキー
- 2月7日 もりもりダンスアカデミー
- 2月9日 IWAMIマルシェ（口羽）
- 2月27日～ 中3・高3 保護者懇談
- 3月10日 卒業証書授与式
卒業生11:40下校
在校生 小11:50下校
中高14:25下校
- 3月13日～ 在校生保護者懇談
- 3月24日 修了式 13:15下校 給食あり



作業班販売会

「IWAMIマルシェ」



3学期にもIWAMIマルシェを開催します！

- 1月19日（木）10:40～12:30
みさと館（美郷町）
- 2月 9日（木）10:40～13:30
口羽公民館（邑南町）
- 3月14日（火）10:00～12:00
あいタウンアベル（邑南町）
矢上高校との合同開催

※感染症の状況等により、日程や時間を変更する場合があります。
詳しくは本校ホームページにてご確認ください。

～表彰～

●全国障害者スポーツ大会（栃木）
女子ジャベリックスロー優勝
100m走、4×100mリレー 出場

●邑智郡地域対抗陸上競技大会
中卒～20歳未満 1500m 1位
中卒～20歳未満 100m 1位
中卒～30歳未満 Jボール投げ 3位
中卒～20歳未満 100m 1位
中卒～30歳未満 Jボール投げ 1位

●特別支援学校総合体育大会卓球競技
男子団体戦出場
女子団体戦出場
個人戦 女子・・・ベスト6
男子・・・ベスト10